



ご入学おめでとうございます 新入生歓迎号

- 新入生の皆さんを歓迎して P1
学長 河村 保彦
- 学部長による新入生歓迎の言葉 P3
私たちも応援します P5
- 同窓会からのメッセージ P9
- 徳島大学びざん会 P10
- 2023年度
徳島大学学年歴及び行事予定 P11
- 大学公式SNS紹介 P12
- サークル紹介 P13
- キャンパスマップ常三島・石井地区 P15
- キャンパスマップ蔵本・新蔵地区 P17
- My Campus Life P19
医学部 医学科 4年 村上 由佳
総合科学部 2年 林 果鈴
- 最先端研究探訪 P21
理工学部 准教授 光原 弘幸
- 研究室へようこそ P23
総合科学部 教授 内海 千種
- 海外体験記 P25
薬学部 創製薬科学科 3年 瀬戸田 紋李
- My Life in Tokushima P26
大学院創成科学研究科 理工学専攻 2年
林 虹君 (リン コウくん)[台湾]
- 徳島大学の国際交流 P27
- 徳大ニュース /
奨学金のご案内について P29
- 読者の言葉 / #とくwalk P30
- 徳島大学基金 / 編集後記



皆さまには、平素から徳島大学の教育、研究、社会との共創活動に対しまして様々なご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
徳島大学は、未来を見据え、現在までに培ってきた知と人の財産を継承し、新しい時代と社会の課題に応える教育・研究の充実を図って参ります。徳島大学が将来にわたり「人、地域をはぐみ未来をつくる」活動を精進していくには、長期的に安定した財産基盤の強化、基金の充実が不可欠です。教職員はもとより、卒業生、保護者の方々をはじめ、企業、団体などの皆さまにおかれましては、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



徳島大学へのご支援について

学生団体支援チャリティーイベント

(2022年12月5日から11日まで実施。)

本学の学生団体の活動を広く認知・共感いただき、彼らの取組を応援していただく機会としてオンライン上でチャリティーイベントを開催しました。
最終的に4,035名の皆さまから「応援票」と各学生団体への「応援メッセージ」をいただきました。たくさんの方にご声援やご支援をいただき、誠にありがとうございました。学生団体の支援のため、大切に使用させていただきます。



詳しい結果報告は上記特設サイトに掲載しています



ロケットプロジェクト2022

※徳島大学発クラウドファンディングサイト「Otsucle」にて
2022年11月4日から2023年1月31日まで実施。

徳島大学イノベーションプラザの学生プロジェクト「徳島大学ロケットプロジェクト」がクラウドファンディングに挑戦しました。自分たちの製作したロケットを今より高く打ち上げ、安全に回収できる技術を構築するためにいずれ成層圏、宇宙圏へ到達できる自作ロケットを目指し、ご支援を募った結果、46名の皆さまから1,911,000円のご支援をいただきました。
あたたかいご声援・ご支援をいただき、誠にありがとうございました。



寄附者のご紹介 2022年10月から12月までの間に、徳島大学基金にご寄附いただいた皆さまのご芳名を紹介させていただきます。ご支援、誠にありがとうございました。

(個人の皆さま 五十音順)

- 安藝浩資様 石橋 聡 様 石村 倫子様 伊丹 直也 様 岩崎 栄次 様
- 上町 昊 様 植村 新 様 呉 恒 様 河野 敏隆 様 下元 祐子 様
- 高木 宏典 様 田中 敏 様 土肥 博文 様 直井 小百合 様 沼田 昌宏 様
- 樋口 一也 様 古田 正志 様 山口 勝己 様

ご支援いただいた皆さまのご芳名につきましては、徳島大学公式ウェブサイトでも掲載しております。
徳島大学では、学生の修学や課外活動等が充実していくよう引き続き学生に寄り添い支援してまいります。今後も、徳島大学の取組および徳島大学基金の充実にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



徳島大学基金 寄附者のご紹介ページ

【お問合せ先】徳島大学総務部未来創造課 Tel:088-656-9979 E-Mail:dosokikink@tokushima-u.ac.jp

編集後記

総合科学部 准教授 佐原 理

春の穏やかな光に包まれ、世界中を覆った暗雲を抜けた船が今まさに輝く水面を滑り出そうとしています。順風満帆、私たちの進路は、まだ見ぬ世界への期待と活力に満ち溢れています。本誌に登場する教員や学生の顔を見てみてください。多様性に溢れ笑顔で生き生きと躍動しています。私たち徳島大学は変化の激しいこの世界において、常に未来をみつめ創造性豊かに持続可能な世界を開拓し、この国で、そして世界で活躍する人材育成に力をいれています。知的好奇心を高め広い海原へと漕ぎ出す若人に私たちは未来を照らす灯台として、いつまでも教え・導く光でありたいと願っています。新入生のみならず、高い研究力と教育力をもつこの徳島大学へようこそ。この徳島の地で過ごす時間の中で、世界で活躍する睿智を身につけ、また大きな海原へと漕ぎ出していっていただけたらと思います。

徳大広報とtalk No.191をお読みいただきありがとうございます。ご意見ご感想は下記にお寄せください。
発行: 徳島大学総務部未来創造課 徳島市新蔵町2-24
〒770-8501 TEL: 088-656-7021
E-mail: koho@tokushima-u.ac.jp
URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/toku_talk
発行日: 2023年4月 本誌は年4回(4月、7月、10月、1月)発行

●本誌表記の所属・学年等は令和4年度時点のものです。



徳大広報 とくtalk



徳島大学 ホームページ



新入生の皆さん、徳島大学へようこそ。皆さんのご入学を徳島大学を挙げてお祝いします。この3年間は、新型コロナウイルス禍で厳しい高校生活や受験生活を過ごされたことと思います。この度、晴れて徳島大学へ入学され、それまでの重圧から解放されて大学生活への夢を膨らませていることと思います。

社会の変化と大学の学び

さて本稿では、新入生の皆さんに、あえて大学学部の際に先の学びについてお話ししたいと思えます。なぜ「あえて」なのか？それは大学生生活を始めようとするスタートラインに立ったばかりの皆さんに、その先の大学院（修士課程、博士課程）への進学も大いに視野に入れていただきたいの思いがあるからです。

今や世界はかつてない速度で変貌を続けており、未来の社会には期待とともに、少子高齢化の加速やそれに伴う生産人口の減

少、自然環境の悪化や感染症の拡大、世界各地における紛争などの不安もあります。一方、わが国は「人生100年時代」と言われ、Society 5.0と呼ばれる超スマート社会（サイバー空間とフィジカル空間の融合による人間中心の社会）の実現に臨んでいます。また、健全な世界を後世に伝え残していくため、SDGs（持続可能な開発目標）についても実現に向けた努力が必要です。皆さんは、今後そうした社会で生き、先導していくこととなります。世間で一般に言われるところの、良い就職先に入り終身雇用で勤め上げる人生はすでに少しずつ変わってきています。併せて、世界の先進国の雇用事情を観てみますと、グローバルな社会では博士号を有している人たちが重用されています。その点では残念ながら、わが国は立ち遅れています。皆さんは、今まさに大学に入学したばかりで、まずは学士の学位を4年間または学部により6年間をかけて取得します。さらにその先の大学院では、修士や博士と

いう学位があります。ここで現実的な話で恐縮ですが、学部卒（学士号取得）、修士修了（修士号取得）、博士修了（博士号取得）のそれぞれの賃金格差を比較します。元データとして、内閣府の設立したe-CST I（e-システイ）というデータ共有プラットフォームに係る産業界ニーズの見える化（2020年10月）によると、「いずれの職種においても、業務との関連度、やりがい、年収レベルは、概ね、博士が最も高く、修士、学士、高専と続く傾向」。また、「いずれの職種においても、年齢が上昇するにつれ年収レベルは上昇する傾向がみられるが、20代の技術系研究職においては、近年博士の年収レベルが大幅に上昇」と分析されています。

To infinity... and beyond!

本稿では、まずは分かり易い給与年収の取り上げましたが、現代の社会では終身雇用を旨

としたメンバーシップ型から、より専門的なスキルが必要とされるジョブ型雇用が増えています。その点で、研究生生活を通じて身につけた博士課程修了者の仮説設定、論理的検証等の高度な能力は、今後の多様な職種にとって大いに武器になります。わが国も博士課程修了者という高度人材の輩出を急務として、新たな奨学金や研究費の支援制度を打ち出しています。また、徳島大学においても博士課程学生のフェローシップ制度や研究留学支援制度等を設け、博士課程進学を大いに推奨しています。この2月中旬に、こうしたフェローシップ受給生の研究発表を聴講しましたが、これらの学生は既に学生というレベルを超えており、私たちは「スカラー」と呼んでいます。皆さんには、ぜひ本学への入学当初に、「こうした若き「スカラー」を目指して学術の深奥に挑み、さらに博士号を取得してそれぞれの進路で世界に雄飛、活躍する選択肢もあることを心に留めていただければと願います。



学部長による新入生歓迎の言葉

生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry



生物資源産業学部長
松木均
(まつきひとし)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。未だに継続しているコロナ禍による閉塞感が漂う世情の中における厳しい受験生活を乗り越えて、晴れて徳島大学へ入学されたことに心より祝意を表します。

生物資源産業学部は、2016年に設立された徳島大学の中では最も新しい学部です。昨年には、大学院創成科学研究科博士後期課程が設置され、学部から大学院までの一貫した教育・研究課程が整いました。本学部は、「ヘルス（医）」・「フード（食）」・「アグリ（農）」をキーワードに、生物資源を用いてイノベーションを起こし地域社会を活性化させる人材やバイオ系新産業を創出し経済を元気にさせる人材の育成を目指しています。また、キャンパスは、皆さんの学修の本拠地となる「常三島キャンパス」に加え、西部に「石井キャンパス」、北部に「鳴門キャンパス」、南部に「新野キャンパス」があり、これら四つのキャンパスが連携・協調して、生物資源を創造的に活用できる人材の養成に力を注いでいます。

本学部で学ぶことで、現代社会が抱える地球規模から分子レベルに至るまでの課題に対して、生物資源を用いて解決を図る知識や技術を習得できるようになります。本学部において、幅広い視野と高い専門性を身につけていただき、自ら描いた夢の実現に向けて邁進していくことを期待しています。皆さんの大学生活が実りある豊かなものになるように支援してまいります。

理工学部

Faculty of Science and Technology



理工学部長
武藤裕則
(むとうやすのり)

ご入学おめでとうございます。徳島大学へようこそいらっしゃいました。

さて、21世紀になって早いもので四半世紀が過ぎようとしています。皆さんが社会で活躍される頃には21世紀も中盤にさしかかっているでしょう。その頃、社会はどのようなになっているのでしょうか。

価値観の多様化やライフスタイルの個性化がますます進んでいることでしょう。しかし、その生活は、恐らく、複雑ではあるけれども共通のプラットフォームによって支えられたものとなっているはずで、でなければ、「社会」を構成することができないからです。そして、そのプラットフォームはその多くを科学技術により支えられ、したがってその役割はますます大きく重くなっているでしょう。プラットフォームを変革してイノベーションを起こすことができるのが、理工学なのです。

いつの時代も、社会は「こんなことができれば良いのにな」の不断の積み重ねで変化してきました。そして、それは主に若い人たちの手によって切り拓かれてきました。皆さん、どうか「社会に変化させられる者」ではなく、「社会を変化させられる者」を目指してください。そのためには、自身の「夢見る社会像」を抱きながら、それぞれが選ばれた分野でしっかり研鑽し続ける必要があります。徳島大学で、そのための確固とした礎を築かれることを願ってやみません。

薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences



薬学部長
土屋浩一郎
(つちやこういちろう)

徳島大学へ、そして薬学部にご入学おめでとうございます。

徳島大学薬学部は2021年度から全員薬剤師免許が取得できる6年制1学科となり今年度は3度目の入学生を迎えますが、同時に2023年度は徳島大学薬学部創立100周年の節目の年でもあります。徳島大学薬学部は日本の薬学の父と称される長井長義博士の進言によって、博士の生まれ故郷である徳島の地に薬の創製を目指して設立されたことから、徳島大学薬学部には創薬を尊ぶ精神と風土が脈々と受け継がれています。そのため徳島大学薬学部の6年制課程においては、Pharmacist-Scientist（薬学研究者）として薬学を基盤とする多様な分野に自ら踏み出し開拓できる人材（インタラクティブ YAKUGAKUJIN）の養成を理念に掲げ、その実現に向け薬剤師育成はもちろん、薬学研究者を目指す創製薬科学研究者育成コースと研究実践能力を備えた薬剤師を目指す先導的薬剤師コースの2コースを置き、特色ある教育・研究環境を提供しています。

新入生の皆さんにおかれましては、かけがえない大学生活を自らが主人公として輝き、そして将来振り返ったときに思い出深い時代にしていただきたいと強く願っています。

歯学部

Faculty of Dentistry



歯学部長
馬場麻人
(まはまひと)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。コロナ感染が始まって、4回目の春を迎えますが、当初は、ウイルスに関する情報も少なく、またワクチンも治療薬もなかったため、学内に限らず厳しい行動制限が設けられてきました。そのような中、教育・研究・臨床を続けるため、様々な工夫がされ、特にオンラインでの講義・会議が急速に普及し、当たり前になりました。一方で、歯学部では臨床教育として、臨床実習などの実習は非常に重要であり、オンラインでの代替は困難でしたが、もともと歯科の世界は感染対策に重きを置いてきましたので、実習に関してもスムーズに対応できたのではないかと思います。ただ、学生間や学生と教員の交流は以前よりは少なくなったのは事実で、そこが課題でした。

しかしながら、昨年度からは、阿波踊り（こじか連）や蔵本祭といった行事も再開され、課外活動等の制限も徐々に緩和されています。そして、本年5月には2類から5類感染症へと変更されることが予定されており、これまで感染対策のため諦めていた行事がまたできるのではという期待もあります。実り多い学生時代となるよう、我々教職員も応援しています。

医学部

Faculty of Medicine



医学部長
西岡安彦
(にしおかやすひこ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の波が繰り返す中での受験勉強を無事乗り越え、徳島大学医学部での大学生活に夢を膨らませていることと思います。コロナ感染対策も大きな転換点を迎え、医学部でもオンライン講義から対面講義への転換とともに3年半ぶりに本来のキャンパスライフを満喫できる環境に戻つつあります。

さて徳島大学医学部は2023年で創立80周年を迎えます。1943年に「徳島県立徳島医学専門学校」として設立され、1949年には四国で初めての国立大学医学部となり80年の歴史を刻んできました。徳島大学医学部が位置する蔵本キャンパスには、徳島大学病院、歯学部、薬学部、先端酵素学研究所があり、生命科学に関係するすべての学部および施設が集まる一大拠点となっています。新入生の皆さんはこのような伝統のある、そして生命科学を学ぶ場として大変恵まれた環境にある医学部で学ぶことに自信と誇りを持って学修に励んでください。

新入生の皆さんが、この徳島大学医学部で有意義な学生生活を送り、次世代の医療界を支える医療人へと成長していくことを心から願っています。

総合科学部

Faculty of Integrated Arts and Sciences



総合科学部長
高橋晋一
(たかはししんいち)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残る中ではありますが、大学生活は日常に戻りつつあります。入学式では、皆さんと直接お目にかかれることを楽しみにしています。

総合科学部では、人文・社会・人間科学分野の幅広い学びと、物事を複合的・多面的に捉える視点を提供します。入学後、さまざまな授業を受ける中で、それぞれの学問分野の奥深さ、面白さを存分に味わってもらい、またその中で関心に応じて将来進みたいコースや専門分野を定め、さらに深い探究を進めていただければと思います。地域の「現場」に足を運び地域課題の解決法を考える実践型の授業などもあり、高校までの学びとはまた違った新鮮さと発見があるはずです。

また、皆さんには、勉学だけでなく、課外活動、アルバイト、趣味、旅行など、幅広い経験を通じて多くの人や世界と出会い、刺激を受ける中で成長していただけたらと思っています。好奇心をもってチャレンジすることで、道は開けてきます。

皆さんの一人一人が、さまざまな出会い、喜びと実りの多い大学生活を送られるよう心からお祈りし、私からの歓迎の言葉とさせていただきます。



教育支援課

教育支援課 教養教育係

田中 翔子 (たなか しょうこ)



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんが最初に学ぶ授業に「教養教育科目」があります。教養教育では、皆さんが所属学部の履修要件に沿って、自分が学びたい授業を選び時間割を作成します。教養教育履修の手引やシラバス(授業概要)をよく確認し、履修登録を行ってください。履修希望者が多い授業は抽選を行うことがあります。抽選に外れた時のことも考え、第二・第三希望の授業を決めて履修登録に臨みましょう。教養教育の授業に関する連絡は、教務システムや教養教育掲示板(教養教育4号館1階)でお知らせします。授業担当教員からも教務システムやmanaba(マナバ)などを

通じて連絡がありますので、必ず毎日確認してください。教務システムから配信される情報は転送設定をしておけば、cアカウントメールに転送することができます。

また、本学は語学運用能力向上のため、語学マイレージ・プログラムを実施しています。

外国語科目や外国語技能検定の成績などがマイレージポイントとして加算され、700ポイント以上の取得が卒業要件に課されています。マイレージポイントが取得できる英語プログラムは、レベル別に学習できるよう開講していますので、自身の成長に合わせて、



ぜひ活用してみてください。

教養教育科目の履修や、語学マイレージ・プログラムについてわからないことがある時は、教育支援課教養教育係(教養教育4号館1階)へ相談に来てください。

新入生の皆さんが有意義な大学生活を送れるよう応援しています。

教養教育院ホームページ
https://las.tokushima-u.com/



教養教育履修の手引・時間割・シラバス(授業概要)
https://las.tokushima-u.com/campus-life/



教養教育の窓口:
教育支援課教養教育係(教養教育4号館1階)

キャリア支援室

学生支援課 キャリア支援係

坂崎 拓海 (さかざき たくみ)



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

キャリア支援室は、就職活動に関わらず、進路や自己実現といったキャリアに関するものであれば、学部や学年を問わず幅広く利用していただくことができます。まずは、ちょっとした相談や質問でいいので、気軽にお越しください。

また、皆さんのキャリアや就職活動、インターシップに関する相談のほか、求人・企業情報の提



供、エントリーシートの添削、面接練習、就職ガイダンスの実施など、就職活動が終了するまで様々なかたちで皆さんをサポートしています。さらに、1年生からキャリア教育・キャリア形成・就職活動とそれぞれのステップにあわせたサポートがあり、特にキャリア支援部門専任教員が開講している授業は、今の自分だけでなく、卒業・就職後の皆さんにも役立つものとなっています。

同様に現場で実際の仕事に触れることができるインターシップは、職業観の育成や社会を知るきっかけになる貴重な機会です。今後、企業はインターシップで取得した学生の情報を採用選考活動に活用することが可能になるため、その重要度はさらに高まります。積極的に参加して社会や仕事への理解を深め、自分の進路を考えてみましょう。

これから多くの皆さんが関わる就職活動は人生の大きな分岐点であると同時に、自分を見つめ直し、新たな道に踏み出すチャンスでもあります。そんな大変な時期だからこそ、弱音を吐きたくないからという気持ちがあるかもしれません。そんな時

はキャリア支援室で息抜きをしながらはいてはいかがでしょうか。

キャリア支援室ホームページ
https://www.tokushima-u.ac.jp/career/job_center/



キャリア支援室予約システム(個別相談や各種説明会の予約が行えます)
https://www.tokudai-syusyoku.com/index.php



キャリア支援室公式Twitter
https://twitter.com/tokudai_career



附属図書館

図書情報課 専門職員

佐藤 孝之 (さとう たかゆき)



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。附属図書館は皆

さんの学習や大学生活を様々な角度からサポートしています。

大学の図書館には、専門書や研究のための資料がたくさんあります。大学ではただ授業を聴くだけでなく、自分で考え、調べ、学ぶ必要があります。図書館の本を大いに活用してください。また、専門書だけではなく小説や幅広い分野の一般書、入門書も揃えています。自分が専門に学ぶ分野以外の棚も眺めてみてください。きっと興味のある本が見つかります。大学生活は忙しいと思いますが、自由な時間でもあります。図書館の本からぜひ自身の世界を広げてください。

図書館では勉強がはかどるといふ人は多いと思います。周りに勉強している仲間がいることで勉強しようという気持ちが湧いてくるのでしよう。図書館では学習するための座席や個室を用意しています。なかなか勉強に身が入らないという時はぜひ図書館に来てください。



また、グループでディスカッションやプレゼンテーションができるスペースも備えています。大学図書館は、コミュニケーションの場でもあります。消毒液やパーテーションを配置して、新型コロナウイルスの感染対策も万全に行っています。ぜひ、大学で新しくできた仲間と楽しく勉強に励んでください。

その他、各種講習会やイベントも随時開催しています。充実した学生生活を送るためにぜひ図書館へお越しください。

キャンパスライフ

健康支援センター

総合相談部門 助教

後藤 龍太 (ごとう りょうた)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

キャンパスライフ健康支援センターは、保健管理センター、総合相談室、アクセシビリティ支援室の3部門からなり、学生の皆さんが心身の健康を保ち、充実した学生生活を送れるよう援助する機関

附属図書館ホームページ
https://www.lib.tokushima-u.ac.jp/



図書館公式Twitter
https://twitter.com/TokushimaU_lib



です。常三島キャンパスでは教養教育5号館1階と4号館1階に、蔵本キャンパスでは蔵本会館の2階にあります。

保健管理センターは、内科医、精神科医、及び保健スタッフが、学生の皆さんの健康管理を支援しています。体調不良やけがをした時に診察・処置を行ったり、心身に関する健康相談、定期的な健康診断を行っています。健康管理・健康増進のために測定機器や運動機器も備えており、健康教室も開催しています。

総合相談室は、臨床心理士・公認心理師の資格を持つカウンセラーが、修学上の悩み、人間関係や心の悩み、自分の性格、ハラスメントの問題など、学生の皆さんの相談を予約制で受け付けています。また学生同士の交流の場として、グループワーク「ほっとの会」「ほっとカフェ」及び「蔵本グループワーク」も定期的に開催しています。

アクセシビリティ支援室は、精神科医が、さまざまな障害(身体障害、精神障害、発達障害など)のある学生が修学や研究を行う上で抱える困りごとに対して相談に応

じ、所属学部や医療機関と連携しながらよりよい支援を行っています。また障害者支援に関する勉強会やボランティア実習を行ってピアリーダーを育成しています。

大学の講義を初めて受ける人、初めて一人暮らしをする人、初めて徳島に来た人、初めましての人間関係など、大学生活はたくさん「初めて」が詰まっているかもしれません。初めてのことは楽しみな気持ちもあれば、不安な気持ち、緊張、色々な気持ちがあるでしょう。キャンパスライフ健康支援センターは皆さんの学生生活が



少しでも充実したものになるよう応援しています。どうぞお気軽にご利用ください。

キャンパスライフ健康支援センター
ホームページ
<https://www.tokushima-u.ac.jp/hsc/>



情報センター

ICTサービス部門 講師
谷岡 広樹 (たにおかひろき)

新入生の皆さん、徳島大学へようこそ。

皆さんは、情報センターと聞いて、何を想像しますか? 「情報が集まっているところ」「パソコンをたくさん置いてあるところ」「インターネットをパトロールしているところ」当たらずとも遠からずといったところでしょうか。情報センターは、大学内のネットワーク



クや情報機器の管理・運営をしているところです。新入生の皆さんとは、オリエンテーション等でパソコン設定やアカウントの登録をする際、最初にお会いすることになります。

2020年頃から流行している新型コロナウイルス感染症のために、オンライン授業を余儀な

蔵本キャンパスでも同様の場所を現在準備しています。

常三島キャンパスの地域創生・



シンガポール国立大学NUSとの交流セッション(NUSの学生56人と徳島大学の学生21人が参加)

国際交流会館4階及び蔵本キャンパスの蔵本会館2階「Common Space」(国際課)には短期海外留学プログラムや海外生活に関する情報がありますので、時間があるときに一度立ち寄ってみてください。海外留学プログラムの説明会や報告会も随時開催していますので、インターナショナルオフィスのホームページや教務システムの掲示板を定期的にチェックしてください。また、海外留学に関する質問がある人もインターナショナルオフィスや国際課に来てください。

インターナショナルオフィスと国際課は皆さんのグローバル化と学生生活を全力で応援します。



情報センターホームページ
<https://www.ait.tokushima-u.ac.jp/>

インターナショナル オフィス

高等教育研究センター 教授

橋本 智 (はしもとさとし)

徳島大学へようこそ。これから日本で生活する外国人留学生の皆さん、そして世界へ羽ばたく志を持つ日本人学生の皆さんを、心から歓迎いたします。インターナ

ショナルオフィスは徳島大学と地域のグローバル化の推進役を果たしています。日本人学生、外国人留学生、地域の方々、そして教職員がともに学び、世界に目を向け、多文化・異文化を共に理解しあえるように、様々な活動を通して皆さんをサポートいたします。

2020年以来、新型コロナウイルス感染症の影響で海外留学プログラムは中止され、外国人留学生も日本に来ることができなくなり、オンライン形式での海外留学プログラムを実施し、「GRIP」グローバルパーソン集中プログラム(語学学習や海外大学の教員や学生とオンラインで交流ができるプログラム)を提供し、学生の皆さんが日本にいながら、外国語学習や多文化体験の機会を提供してきました。また水際対策の緩和により、海外留学を再開できるようになり、現地に行つて語学学習や異文化体験ができる状況に戻ってきました。今後は世界の情勢を見ながら、行き先や期間の異なる様々な留学プログラムを用意していく予定です。これまで外国に行ったことがない人も安心して参

加できる短期海外留学プログラム(2~4週間)も提供します。海外留学をすると、新しい発見と新しい出会いがあり、自分の視野を広くすることもでき、いままでと違う新しい自分と出会えるようになります。ぜひ、海外留学に挑戦してみてください。同時に、時間や場所の制約を受けない「オンライン」だからこそできる「国際交流」も用意していますので、積極的に参加してください。

現在、徳島大学には180人ほどの外国人留学生在籍しており、皆さんには大学生活を通して様々な国から来る背景の異なる学生と交流するチャンスがたくさんあります。「学生サポーター」に登録し、GRIPや「グローバルランチ」に参加することにより、多くの外国人留学生と交流し、多文化理解を深めてください。また、常三島キャンパスの地域創生・国際交流会館2階のELCS(英語学習スペース)では、自由に英語を話し、情報交換をする時間を設けています。外国人留学や英語教員がいますので、ぜひ、足を運んでみてください。そこで「学内留学」を楽しんでください。また、



インターナショナルオフィス
ホームページ
<https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>
地域創生・国際交流会館4階

国際課
常三島キャンパス: 地域創生・国際交流会館4階
蔵本キャンパス: 蔵本会館2階

清水会 総合科学部同窓会

総合科学部及び大学院へのご入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。



清水会では、優秀な学部生及び院生に「清水会会長賞」を贈ったり、研修会に助成を行うなど、会員の活動支援に努めています。学部の歴史や清水会の活動状況、同窓生の活躍は、会報やホームページでご紹介していますので、ぜひご覧ください。

連絡先 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
徳島大学総合科学部内 清水会事務局
Tel: 088-656-7293 / Fax: 088-679-8485
E-mail: info@isuikai.jp URL: http://www.isuikai.jp

栄友会 医学部医科栄養学科同窓会

栄友会は、徳島大学医学部医科栄養学科(旧栄養学科)、及び大学院医科栄養学研究所の卒業生、在校生、教職員、修了生で組織された同窓会です。徳島本部、東日本、関西、そして九州・山口県に支部組織があり、会員数は3206人です。総会・支部会・阿波踊り、同窓会報や会員名簿の発行を通じて、会員の皆さまの交流を支援しています。



連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部医科栄養学科内栄友会事務局
Tel: 088-633-7093 E-mail: eiyukai@tokushima-u.ac.jp
URL: http://eiyo.jimdo.com/

蔵歯会 歯学部同窓会

ご入学おめでとうございます。歯学部同窓会の卒業生数は、歯学部2123名、口腔保健学科192名の総数2315名です。蔵歯会は、全国の支部長による支部説明会や各方面で活躍している先輩を招いて進学就職ガイダンスを開催しています。入学時から生涯を通じて、皆さまのサポートをいたします。



連絡先 770-8504 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学歯学部内蔵歯会事務局
Tel: 080-6392-7362 / E-mail: kurashikai7362@gmail.com
URL: https://www.tokudai-d.net

工業会 工学部・理工学部 生物資源産業学部同窓会

ご入学おめでとうございます。充実した大学生活を送られることを願っております。工業会の設立は1933年で、現在の会員数は約3万人です。皆さまは準会員となります。全国に18もの支部があり、会員相互の世代を超えた交流が活発に行われています。このネットワークは皆さまの将来の就職活動や就職後も頼もしい味方となります。



連絡先 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1
徳島大学理工学部内工業会事務局
Tel / Fax: 088-656-5432 / E-mail: office@kgk.tokushima-u.ac.jp
URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/

青藍会 医学部医学科同窓会

ご入学おめでとうございます。



壮観な白衣授与式

医学部医学科同窓会は青藍会と称し、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に尽くすことを目的としています。現在の会員総数は6755名で全国に14の支部を擁し、会報の発行や講演会開催、各種事業等、在学時はもとより卒業後の支援をしています。新入生の皆さまを本会の正会員として歓迎します。

連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部医学科同窓会青藍会事務局
Tel: 088-633-7109 / Fax: 088-633-3180 E-mail: seiran@tokushima-u.ac.jp
URL: https://www.seirankai-tokushima.jp/

睦眉会 医学部保健学科同窓会

ご入学おめでとうございます。



睦眉会は、徳島大学医学部保健学科、大学院保健科学研究科、ならびに前身校を含めた同窓会です。1996年に発足し、会員名簿や会報の発行、総会(写真・2022年度睦眉会オンライン総会)や講演会の開催などを行い、会員相互の親睦と母校の発展のために活動しています。現在の会員数は、7599名です。

連絡先 〒770-8509 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部保健学科内睦眉会事務局
Tel / Fax: 088-633-9067 / E-mail: mutsumi.jim@gmail.com
URL: https://mutsumi.web5.jp

薬友会 薬学部同窓会

ご入学おめでとうございます。



薬友会は、今年度創立100年を迎える薬学部の同窓会組織として活動しています。会員数は5391名で、薬学部に入學と同時に皆様は準会員となります。薬友会は全国に8つの支部を持ち、同窓会・支部会の開催支援、講演会やホームカミングデーの共催、卒業生に対しては同窓会誌(写真)や会員名簿の発行を通じて、世代を超えた結びつきを応援しています。

連絡先 〒770-8505 徳島市庄町1-78-1 徳島大学薬学部内薬友会事務局
Tel: 088-633-7292, 088-633-7250 / Fax: 088-633-9517
E-mail: reunion-ph@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/campus_life/alum/reunion/

**ご入学おめでとうございます
同窓会からのメッセージ**

徳島大学には各学部に7つの同窓会があり、それぞれの活動を続けておられます。

徳島大学びざん会

徳島大学には各学部に7つの同窓会があります。それぞれが活動を続けられているなか、日頃より学生生活をはじめとした本学の教育研究活動等に関してご支援をいただいています。

この7つの同窓会の枠組みを越えた交流・連携の場として「徳島大学びざん会」を大学が主体として運営しています。「徳島大学びざん会」では、卒業生・修了生と大学との絆をより一層深め、各同窓会と大学全体の発展に貢献することを目的に活動しています。

「オンラインびざん会」を毎月開催

「オンラインびざん会」は、旬な本学の取組・研究・学生生活の活動を発信する場として、基本毎月1回、土曜日の午前に開催しています。本会は無料のWeb会議ツールZoomを利用し、卒業生・在学生・教職員をはじめ保護者の皆さんや地域の皆さんなど、どなたでもご参加が可能なオープン

な会です。毎月、現役の教職員・学生が登壇する貴重な機会となっております！本年度も全9回予定で開催しますので、皆さんぜひご参加ください。参加方法・詳細はページ下部のQRコードからご確認ください。YouTubeチャンネルにて過去のアーカイブ動画も公開しています。

令和5年度開催スケジュール(予定)

4月22日(土)	
5月27日(土)	
6月24日(土)	
7月29日(土)	
9月30日(土)	9:30~10:30
12月23日(土)	
1月20日(土)	
2月17日(土)	
3月23日(土)	

※都合により変更になる場合があります。

ニュースレターを毎年2回発行しています

本学では各同窓会事務局と連携し毎年2回、公式HP上にニュースレターを掲載しています。このページでは各同窓会会長・理事長からのメッセージや卒業生・修了生の皆さんの現在の活躍を紹介しています。歯学部卒業後、大学院で研究を続けられ、在学中に取得



「オンラインびざん会」にご参加いただいた方の集合写真

した歯科衛生士の資格や携わった研究内容を活かし、大手オーラルケアメーカーへ就職された修了生のご紹介など、卒業後も新たなステージで活躍されている皆さんについて、ぜひ知ってください！詳しくは大学公式ホームページ「ニュースレター」をご覧ください。(QRコードからもアクセスできます。)



河村学長の貴重なお話もアーカイブ配信で視聴できます。ぜひチャンネル登録してください！

**【問合せ先】
総務部未来創造課未来創造係
同窓生担当**

2023年度より「同窓生・基金係」は「未来創造係」へ係名を変更しました!今後もこれまで以上に、同窓会の皆さまと連携し本学の発展に努めてまいります。



びざん会 ホームページ
オンラインびざん会 YouTube
ニュースレター ホームページ

徳島大学公式SNS
QRコード



YouTube



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。徳島大学広報担当、またの名を徳大公式Twitter中の人です。これから始まる大学生活をもっと楽しむために、大学公式SNSをご紹介します。大学公式SNSでは、大学の取組からちよつとした小ネタまで、主に学生の皆さんにお届けしたい情報を毎日投稿しています。また、保護者の皆さまにとつても、お子様の学生生活をイメージしていただける内容になります。ぜひフォローしていただき、充実したキャンパスライフにお役立てください😊



Twitterを
フォロー
しよう

1 QRコードを読み込み!



2 トップからフォロー!



3 ハッシュタグで検索!

#徳島大学 #春から徳大
#徳島大学あるある言いたい
#とくだいデータバンク
#とくwalk #徳大アニマル部 etc

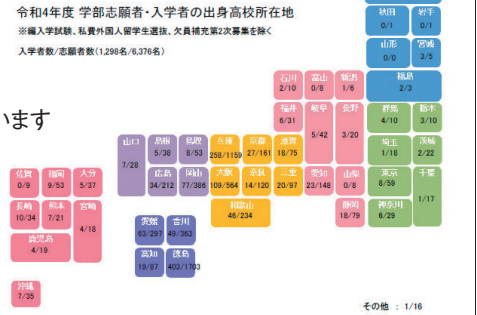


必見!
徳大の
イマが見えます

トピックス 徳大データ大公開

#とくだいデータバンク
#こんな情報もTwitterに掲載しています

徳島県外から入学している学生が7割と
言われている徳島大学。出身高校所在
地の状況をご紹介します。



2023年度 徳島大学学年歴及び行事予定

※新型コロナウイルスの影響で、変更となる可能性もあります。

4月・5月

- 前期開始(4月1日)
- 春季休業(4月1日~5日)
- 新入生オリエンテーション ほか(4月3日~11日)
- 入学式(4月6日)
- 前期授業開始(4月11日)
- 五月祭(6月4日)

五月祭は、主として新入生を対象に学生相互の親睦をはかることを目的とし、毎年5月に開催しています。ステージ、模擬店、貫歩企画などで交流の輪を広げます。なお、2023年度は日程都合により6月4日の開催予定です。



6月・7月

- 四国地区大学総合体育大会

学生の健全なる体育の発展と学生相互の親睦をはかることを目的とし、四国地区の国・公・私立大学(短大を含む)の学生が参加します。(2023年度は、大学間で運営の見直しを行うため開催はありません)



8月・9月

- 夏季休業(8月1日~8月31日)
- 科学体験フェスティバル in 徳島(8月5日・6日)
- オープンキャンパス(8月上旬~中旬)
- 阿波おどり(8月中旬、県内各地)

400年の歴史を持つ徳島の夏祭りです。徳島大学からも多くの連(おどりのグループ)が参加します。

- 前期終了(9月30日)



10月・11月

- 後期開始(10月1日)
- 大学祭(蔵本祭10月21日・22日 / 常三島祭10月28日・29日)

大学祭はこれまで60回以上行われ、本学の課外活動としては最も歴史のかつ最大のイベントです。各学部・各サークルの趣向を凝らした催し物、学部研究室の一般開放、市民と学生のつどいなど地域社会との交流もいろいろ企画され、全学あげての多彩な祭典が繰り広げられます。

- 開学記念日(11月2日)
- 中・四国国立大学連合演奏会・連合美術展覧会(11月~12月)

学生の健全なる文化の発展と学生相互の親睦をはかることを目的として、中・四国の国立大学9大学の学生が参加して行われます。



12月・2024年1月

- 徳島大学駅伝大会

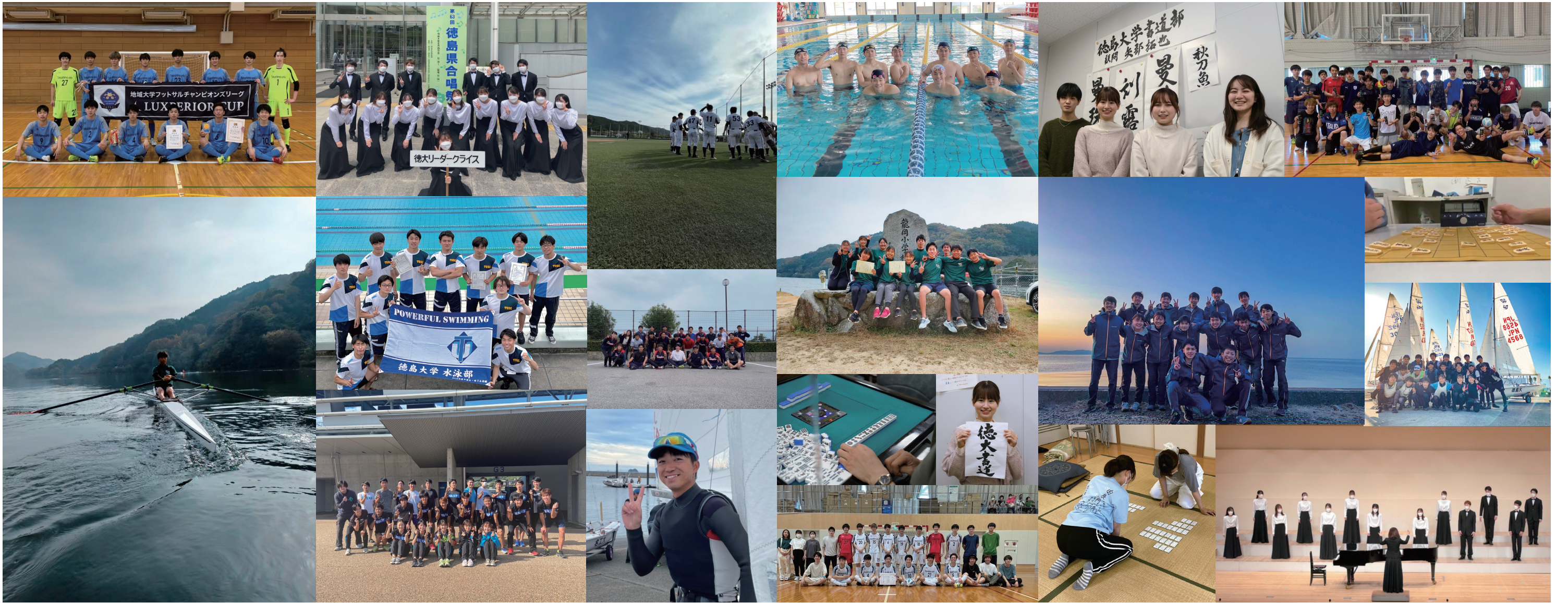
駅伝を通じて学生及び教職員との相互の親睦を深め、体力・気力の向上をはかることを目的に、徳島大学体育団体連合会と徳島大学主催で毎年1月に徳島中央公園で開催しています。



2月・3月

- 卒業式・修了式(3月22日)
- 学年末休業(3月25日~3月31日)
- 後期終了(3月31日)





サークル紹介

本学には、大学公認サークルが91団体(文化系41サークル、体育系48サークル、サポート系2サークル)あり、学部学生の約30%(2,300名)がいずれかのサークルに所属しています。また、多彩な学生プロジェクトも活動しています。

文化系

サークル団体

- 常三島地区(36団体)
- 交響楽団
- 演劇部
- 写真部
- 美術部
- 茶道部
- ギターアンサンブル部
- リーダークライス
- 文学クラブ
- 東洋哲学研究会
- 書道部
- フルバンド部
- ポップス研究会
- 虎林園
- フォーク村(F.V.C)
- コンピュータークラブ
- イラストレーション研究会
- 放送研究会
- 邦楽部
- アストロラブ
- 将棋部
- Korean Club
- 囲碁部(休部)
- デジタルアート研究部
- 中国語サークル
- ハンドメイド部
- ライブラリーワークショップ
- アグリクラブ
- 麻雀サークル Liber
- 狩猟サークル Rexier Jact
- 作曲DTM研究部
- ホスピタルアートクラブ
- 学生ボランティア部
- らばっと編集部
- 就職支援団体 ACTIVE
- 競技かるた部
- 焼きものサークル
- 蔵本地区(5団体)
- 蔵本茶道部
- 蔵本軽音楽部
- 蔵本外国語研究会
- 蔵本将棋部
- 医歯薬ボードゲームサークル Toy Soldier

体育系

サークル団体

- 常三島地区(35団体)
- 自動車部
- ヨット部
- 硬式庭球部
- 柔道部
- バスケケットボール部
- 卓球部
- 陸上競技部
- ソフトボール部
- サッカー部
- サイクリング部
- 弓道部
- 水泳部
- バドミントン部
- ソフトテニス部
- バレーボール部
- スキューバダイビング部
- ボート部
- 硬式野球部
- 拳法部
- ユースホステル部
- 空手道部
- 合気道部
- 剣道部
- モダンダンス部
- ハンドボール部
- ゴルフ部
- 釣り部
- ラクロス部
- アメリカンフットボール部
- 軟式野球部
- フットサル部
- 自転車競技部
- サーフイン部
- ボルダリング部
- ラグビー部
- 蔵本地区(13団体)
- 蔵本弓道部
- 蔵本合気道部
- 蔵本剣道部
- 蔵本空手道部
- 蔵本柔道部
- 蔵本硬式野球部
- 蔵本ソフトテニス部
- 蔵本バドミントン部
- 蔵本バスケケットボール部
- 蔵本卓球部
- 蔵本ラグビー部
- 蔵本硬式庭球部
- 蔵本バレーボール部

サポート系


サークル団体

- 常三島地区(2団体)
- 学びサポート企画部
- 阿波ビブリオバトル
- サポーター

イノベーションプラザ

令和5年度 活動予定プロジェクト

- 阿波電鉄プロジェクト
- ゲームクリエイティブプロジェクト
- 鳥人間プロジェクト
- ロケットプロジェクト
- ロボコンプロジェクト
- エコランプロジェクト(新規予定)

【新規プロジェクトも募集中!】

 イノベーションプラザ
 ホームページ



地域創生・国際交流会館
地域社会の国際化や地域課題の解決を支援する場及び学生、教職員の国際化を強力に推進するための拠点となる施設です。

多言語交流コモンラウンジ
[1階]
多言語・多文化交流イベントを開催しています。

英語学習コミュニケーションプラザELCS(エルクス)
[2階]
英語学習のためのプログラムを多数開催しています。

語学学習相談コーナー
[2階]
英語学習コミュニケーションプラザ内で語学の学習支援を行っています。

Global Space Josanjima
[4階]
留学情報等を得るならここへ

インターナショナルオフィス
[4階]

フューチャーセンターA.BA
[5階]
イノベーションプラットフォームとして利用しています。

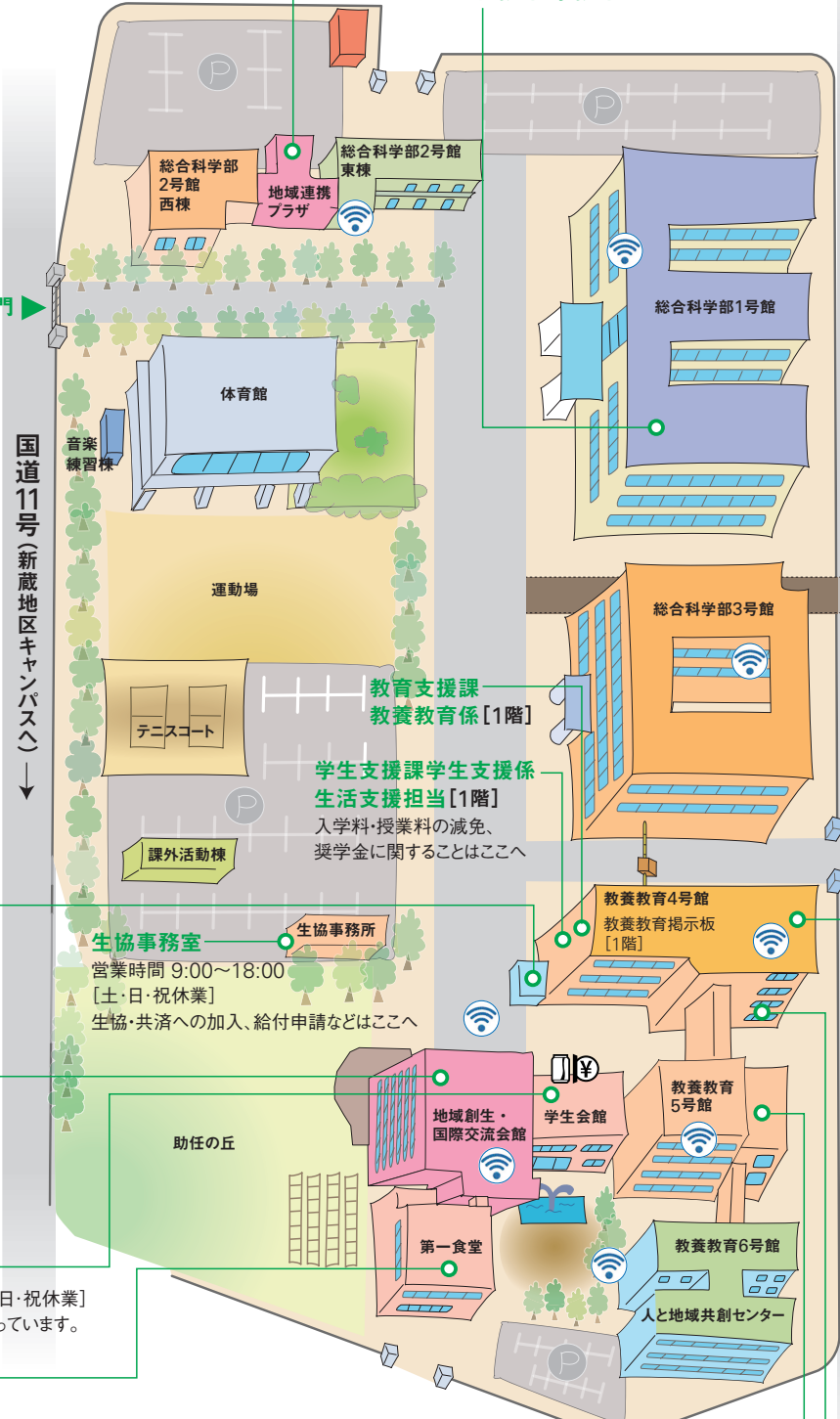
生協 Dining キラ
営業時間 8:00~20:00
[土]11:30~14:00
(L.O.13:30)
[日・祝休業]

K's Bakery
10:00~14:00
[土・日・祝休業]



地域連携大ホール
(常三島けやきホール)
[2階]

自習スペース
総合科学部1号館及び3号館東1~3階
(授業・講演等に使用する場合がありますのであいている時のみ)
設備:机、椅子、自動販売機
教養教育院学生自習スペース
教養教育5号館2階/
設備:机、椅子、PC充電式ロッカー、自動販売機



総合科学部正門

国道11号(新蔵地区キャンパスへ)



銀行ATM
阿波銀行・徳島大正
銀行 共通
ゆうちょ銀行ATM



生協 [1階]
営業時間 8:15~18:00 [土・日・祝休業]
売店、書籍、旅行サービス等扱っています。

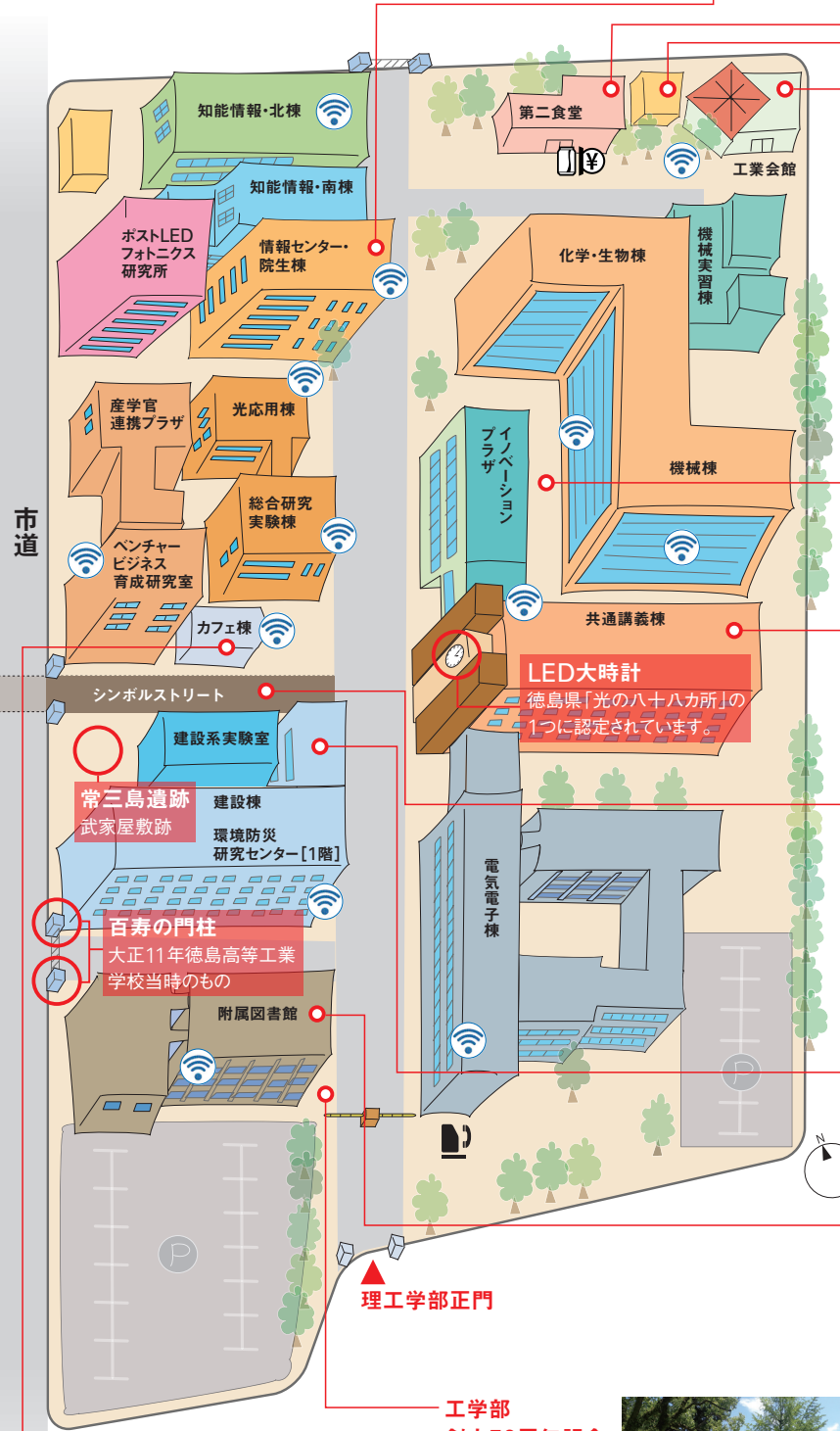
キャンパスライフ
健康支援センター [1階]
[平日] 8:30~17:15
保健管理センター(保健管理部門)
病気、けがの場合はここへ
メンタルヘルス相談もしています。
総合相談室(総合相談部門)
困り事、悩み事などの相談はここへ

キャリア支援室 [1階]
学生支援課キャリア支援係
キャリアのことや就職に関する相談はここへ
学生支援課学生支援係
学生の相談や課外活動、福利厚生に関する相談はここへ
アクセシビリティ支援室 [1階]
[平日] 8:30~17:15 障がいを持つ学生の修学支援はここへ

自習スペース
自習エリア
■ 共通講義棟2~6階: 中央エレベータ前にパーテーションで区切られたエリア。エアコン完備。机・椅子(合わせて150名分)
1階、4階に自動販売機(飲料)
■ 総合研究実験棟1・2階: エレベータ前リフレッシュコーナー / 設備:机、椅子
履修相談室
■ 共通講義棟3階西端
その他
■ カフェテリア / 設備: 机、椅子
■ 学生会館1階 / 設備: 机、椅子、雑誌

情報センター
パソコン使用時間
[平日]
2F 8:30~22:00
3F 8:30~18:00
※授業中は利用不可

総合科学部 理工学部
生物資源産業学部
常三島地区
キャンパスマップ
Josanjima Campus Map



生協creA(クレア)
営業時間
[平日]
11:30~14:00
(L.O.13:30)
[土・日・祝休業]



カフェテリア
食事、自習等自由に使用できます。

生協ミニショップ Emi*re(えみり)
[1階]
営業時間
[平日]
9:30~18:30
[土・日・祝休業]



中庭
[キャンパスモール]



理工学部事務課 総務係・学務係 情報ひろば [1階]

シンボルストリート



生物資源産業学部事務課 総務係・学務係 [2階]
大学院創成科学研究科理工学専攻 国際連携教育研究センター [3階]

附属図書館
開館時間
[平日]
8:30~22:00
[土・日・祝]
10:00~17:00
学習・パソコン利用



生協CAFE San-Jyo(さんじょ)
営業時間 [平日] 10:00~18:00
[土・日・祝休業]





薬学部スタジオプラザ [1階]

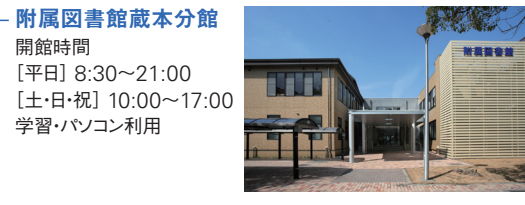


長井庭園



生協CafeteriaKURA-LA (くらら) [1階]
営業時間
[平日] 8:30~18:00
[土・日・祝休業]

勝沼信彦
記念ギャラリー [1階]



附属図書館蔵本分館
開館時間
[平日] 8:30~21:00
[土・日・祝] 10:00~17:00
学習・パソコン利用

歯学部事務課 総務係・学務係 [1階]

医学部総務課・学務課 [1階]

すだちホール・LAWSON [1階]



タリーズコーヒー [1階]
営業時間 [平日] 8:00~17:30
[土・日・祝休業]

医学部 歯学部 薬学部

蔵本地区

キャンパスマップ

Kuramoto Campus Map



LAWSON [1階] 年中無休
営業時間 [平日] 7:00~20:00
[土・日・祝] 7:00~18:00



銀行ATM [1階]
阿波銀行 / 徳島大正銀行 / 四国銀行
営業時間 [平日] 8:45~18:00
[土] 9:00~18:00 [日・祝休業]



郵便局 [1階]
営業時間 [平日] 9:00~17:00
[土・日・祝休業]
ATM営業時間
[平日] 8:00~18:00
[土] 9:00~12:30 [日・祝休業]



厚仁会売店ボンタ [1階]
営業時間 [平日] 8:00~17:00
[土・日・祝休業]

果物店cococomero [1階]
営業時間
[平日] 8:30~15:00
[土・日・祝休業]

インフォメーションプラザ [1階]
長井長義博士の像、資料が展示されています。
薬学部事務課 総務係・学務係 [1階]

[1階]
生協キッチン SAKU-LA (さくら)
営業時間 [平日] 7:50~19:00
[土・日・祝休業]

生協コンビニ LUCK-LA (らくら)
営業時間 [平日] 8:30~18:00
[土・日・祝休業]

生協書籍・文具・PC SHOKO-LA (しょころ)
営業時間 [平日] 9:00~18:00
[土・日・祝休業]

[2階]
アルバイト情報コーナー、ソフトボール用品等の
無料貸出体育館、和室の予約もこちらで。

キャリア支援室蔵本分室
[平日] 13:00~21:00

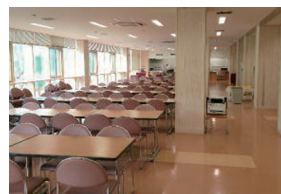
国際課蔵本分室
[平日] 9:00~17:00

Global Space Kuramoto
[平日] 9:00~17:00
留学情報等を得るならここへ

キャンパスライフ健康支援センター
[平日] 8:30~17:15

蔵本保健室 (保健管理部門)
病気、けがの場合はここへ

総合相談室 (総合相談部門)
困り事、悩み事などの相談はここへ



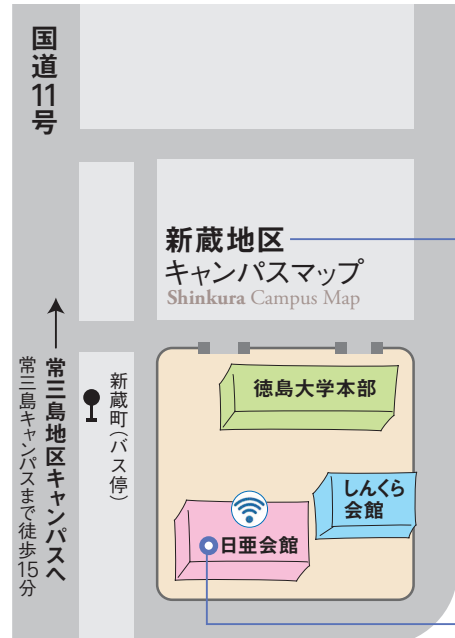
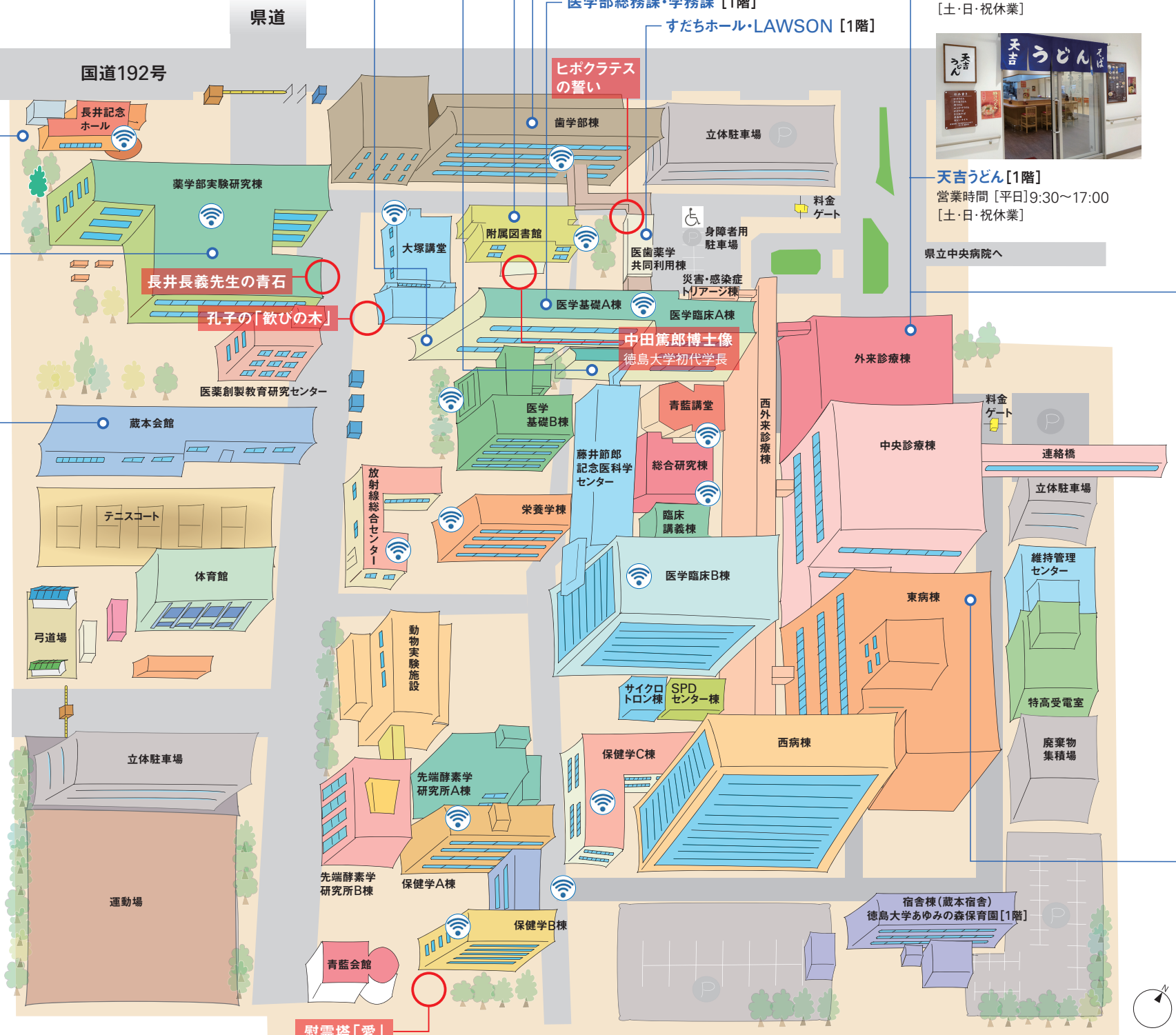
キッチン SAKU-LA



コンビニ LUCK-LA



書籍・文具・PC SHOKO-LA



日亜会館

1階: ガレリア新蔵
徳島大学の地域連携・社会交流活動拠点として、①各種イベントの開催、②教育研究活動の展示紹介などに活用されます。ギャラリーフロアには可動式の展示パネルがあり、展示室では、様々なテーマの特別展示を行っています。

3階: 放送大学徳島学習センター
4階: 留学生宿舎

自習スペース

医学部

[医学科] (学年指定)

- クリクラ控室 / 臨床講義棟1階
- チュートリアル室 (12室) / 医学基礎B棟3・4階
- 学生自習室 (3室) / 医学基礎B棟3階
- クリクラ控室 / 医学臨床B棟1階
- クリクラ控室 / 医学臨床A棟2階

[医科栄養学科] ■ 学習支援室 / 栄養学棟2階

[保健学科]

- 看護学専攻学生自習室 / 保健学A棟1・5階
- 放射線技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟3階
- 検査技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟5階
- 学生自習室 / 保健学C棟1・2階
- 学生自習室 / 歯学部棟2階
- 学生自習室 / 薬学部棟1階

歯学部

薬学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
心弾む新生活。充実した学生生活を送るヒントを先輩たちから
もらいましたので、ぜひ参考にしてみてください。



前号の『とくtalk(190号)』でも特集されたアントレプレナーシップ教育。世界の諸課題を解決する優れた人材育成を目指し、多様なスキルを実践的に体得する授業「次世代事業創造実践」を、昨年度受講した林さん。ファッションが好きで将来、起業を考えている林さんは、模倣会社でのハンドメイドアクセサリーの販売を通じて起業のプロセスを学びました。授業は3人がチームになって助けあい、自身で立ち上げた模倣株式会社を運営するというスタイル

手に届くきらめきで日常を美しく “私のための”お守りアクセサリーの販売に挑戦

常三島キャンパス 総合科学部 地域創生コース 2年 林 果鈴 (はやしかりん)

My Life Situation

趣味：おしゃれすること
サークル：軽音部
アルバイト：飲食店や古着店



売りに上げに効果があったのはInstagramのリール動画。友達や先輩、後輩を中心に購入者が増え、知り合いのSNSを通じて情報が広まったそうです。授業以外にも定期ミーティングなどを重ね、夏休みを費やして挑戦したそう。「自分たちが作った物が売れて収入を得るのは、アルバイトとは違った達成感がありました」。



医科栄養学科を卒業後、医学科を再受験した村上さん。栄養学について勉強していく中で、「もっと深く学びたい」と感じ、医学科を目指しました。お話を聞いた2月下旬はちょうど病院実習の時期。医科栄養学科の4年時も病院実習があり、患者さんへの食事指導や栄養管理を学びました。その際も患者さん一人ひとりの病態の理解が不可欠と感じていたそう。両方を体験し、「食事や栄養は生きていく上で非常に

医科栄養学科から医学科へ ダブルライセンス取得と、家庭との両立も目指す

蔵本キャンパス 医学部 医学科 4年 村上 由佳 (むらかみゆか)

My Life Situation

趣味：ピアノ、ドラム、スキー、旅行(世界遺産検定を取得し、世界遺産巡りも楽しんでいます)



急患が入るなど、お昼も何かと慌ただしいため、「お弁当なら自分の空き時間にさっと食べられる」とご主人にも喜ばれているそう。健康面を考え、野菜カップを必ず入れるのがポイント。

大事なこと。食も大切にできるドクターになりたい」という思いを強くしたといいます。医科栄養学科から医学科を目指す学生は、中退して医学科へ入り

直すケースもあるそうですが、村上さんは管理栄養士の国家資格と医師免許のダブルライセンスで働くことを目指し、中退はせず、医科栄養学科を卒業後、医学科再受験という選択をしました。「どこまで栄養学の知識を活かして関わっていかれるか分かりませんが、栄養学も含めあらゆる知識と技術を身につけていきたい」と真摯に努力を重ねています。

と家庭の両立です。医学科に入学して2年目に結婚した村上さん。ご主人は、村上さんが医科栄養学科の時に所属していた弓道部の先輩で、現在は医師として勤務しているそうです。家庭では、夫婦2人分のお弁当作りや食事作りをはじめとした家事をこなしています。バランスのいい食事をこころがけ、できるだけ手作りし、お互いの健康を食から考えています。



the most advanced...



災害時、多くの命を守れるよう 避難訓練をICTで強化

理工学部 准教授
光原 弘幸 (みつはらひろゆき)



VR、メタバースで行う 新しい避難訓練

ゲームなどですっかり身近になったVR (Virtual Reality)。VRゴーグルという専用の機器を頭に装着することで、多数人がコンピュータの中に構築された三次元の仮想空間(メタバース)をリアルに体験することができます。

光原先生は、このVRやメタバースを災害時の避難訓練に活用する研究を行っています。

「メタバースは一般的に自分にとっての理想的な場所(ユートピア)であり、居心地のいい空間。みんなでワイワイ楽しく過ごしているところに災害が起こったら『人間はどんな風に行動するだろう?』という点に興味があり、メタバース内を災害の状況に一変さ

せ、そこでの行動を科学的に分析し、現実世界の防災に役立てたいと考えています」。

**メタバースでの行動をデータ化
防災に役立てる**

メタバースではランダムに災害が発生させることができますが、より自分事として体験できるよう、気象庁のデータをもとに日本各地で発生した強い地震をシステムが検知。それと連動してメタバースで同じ震度の地震をおこす実験を行っています。

メタバースで災害が起こると「避難する・しない」も含め、どう行動するかはそれぞれの自由。その行動データを蓄積して「大勢を追って避難しがちで、狭いところに人が殺到してしまう」とい

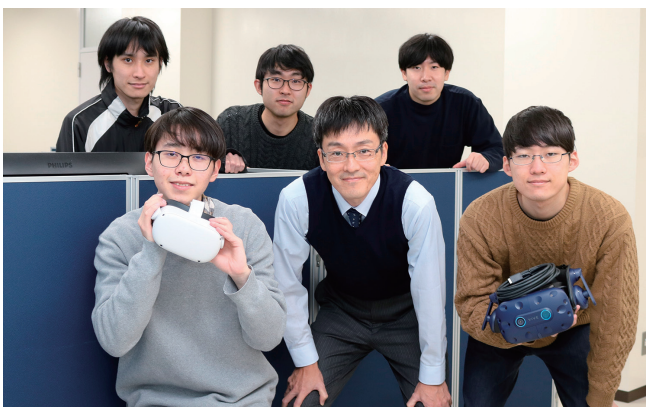


「VR避難訓練のいいところは繰り返し、様々なシチュエーションを体験できること。『別の避難行動をとるべきだった』、『普段から〇〇しておこう』といったことに気付くきっかけになります」という光原先生。

た傾向を把握し、現実世界の避難計画に活用します。

メタバースでは学生たちが普段利用している常三島キャンパスを再現。建物の配置や机や椅子などを教室のレイアウトも同じです。

さらに光原先生や研究室の学生のみなさんもアバターとなって活躍! 「授業中、火災がおきたら」「先生が負傷したら」など災害のシナリオも設定でき、実験後、自分たちの行動を客観的に分析します。「優しい先生は助けるけど、厳しい先生は助けない」など、実際の人間関係や心理学的な側面もデータに反映されるよう工夫して



研究室メンバー(上)とアバターの集合写真(取材時に不在だった学生も一緒に)。特徴をよく捉えています。

います。

「これまでもVRによる防災訓練や防災教育は行われていましたが、『今から訓練します』という告知のうえで実施されるので、『ちゃんとやらなくては』という意識が働いていたと思います。この実験では楽しんでいる状況下で不意に災害が起こるので、人間の本性が分かり、新しい知見を得られるのではないかと期待しています」。

研究開始のきっかけは 子どもたちへの思い

光原先生がこの研究を始めよう

と思ったのは、お子さんの誕生がきっかけだったそう。30年以内に約80%の確率で起こるといわれる南海トラフ巨大地震。「もし子どもが地震に遭遇しても、命を守るようにしたい。命を守る避難訓練をICTで充実させよう」という思いが、研究の原動力になっています。

「その後、下の娘が生まれ、しばらくして東日本大震災がおきました。その時は海外出張中で、遠く離れた場所から震災の様子をニュースで見ただけで、何もできませんでした。この時も『親がいなくても、自分で命を守るようになってほしい』とさらに強く思い、研究に力が入りました」。

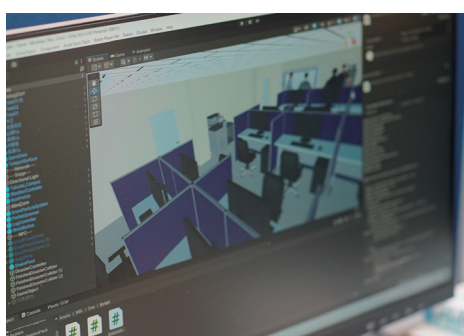
光原先生は子ども達への防災教育推進を目指し、徳島県内の中学校を中心にタブレット端末を使った避難訓練も実施してきました。また、シリアスな話題になりがちな防災を楽しみながら継続的に学んでもらいたいとの思いから、ポケモンGOに似た避難場所学習用モバイルアプリも試作しました。しかし、コロナ禍で対面での訓練実施が困難に。「このままでは避難訓練がなくなるかもしれない…」という危機感を抱き、VRで避難訓練ができるよう、精力的に研究を進めています。

地震や津波などの自然災害だけでなく、国際情勢、新型コロナウイルスのパンデミックなど学生たちは様々な不安要素に囲まれています。そうした暗い話題に飲み込まれることなく、「希望をもって学生生活を送って欲しい」という光原先生。「僕の好きな言葉にウォルト・ディズニーの『If you can dream it, you can do it. (夢見



(右)タブレット端末を使った避難訓練に参加する生徒さんたち。架空の災害状況を見て、どう行動するかを考えながら避難していきます。

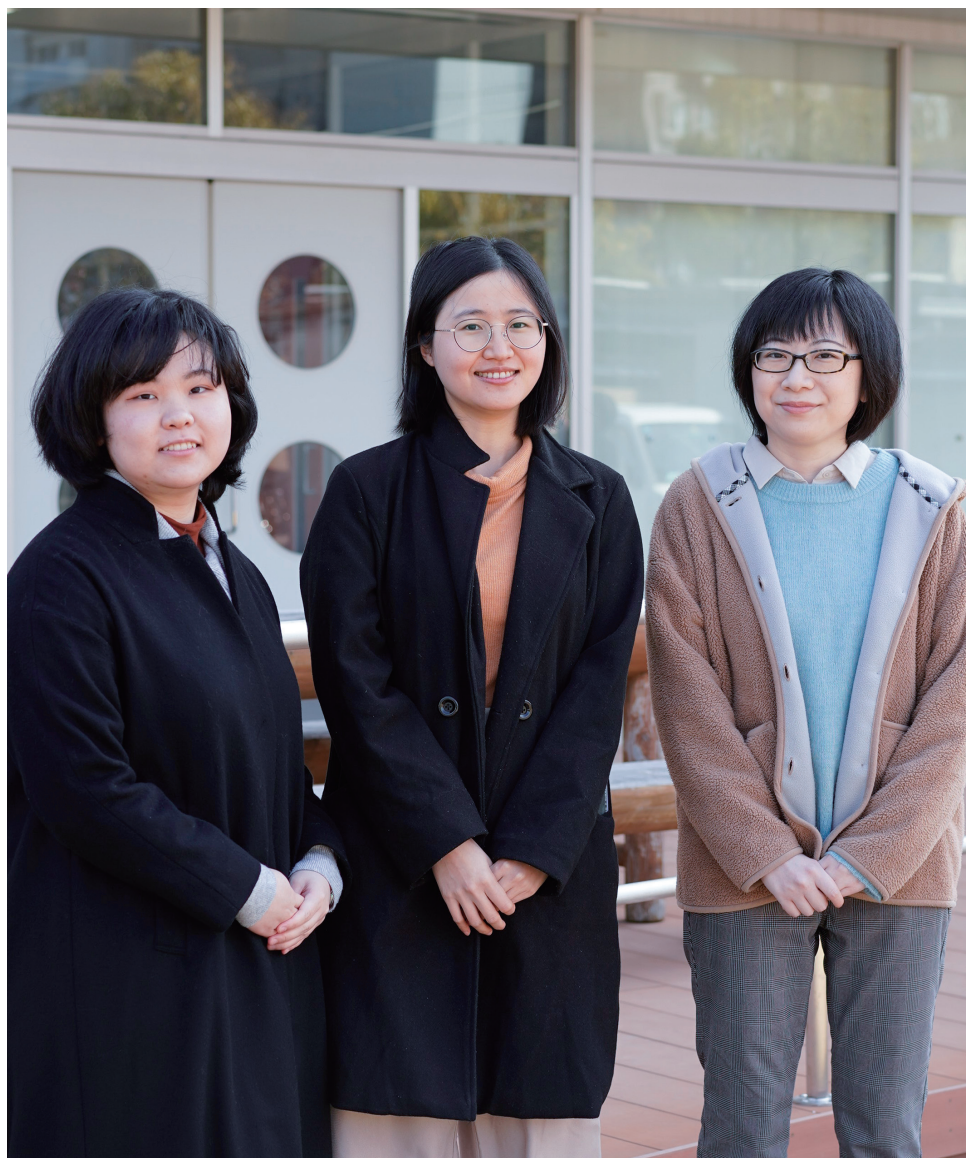
(左)ポケモンGOに影響を受けた試作アプリ。避難場所を訪れると収容人数と同じポイントを得て、災害伝承碑などを訪れるとポイントとキャラクターを交換できます。



普段作業している学生部屋をメタバースに再現。学生のみなさんが構築作業に奮闘したそう。現在はまだ研究レベルのため、一般的に誰もが体験できる状況ではありませんが、VRゴーグルも一般に浸透しているので、新しい避難訓練として定着するものもそう遠くないかも。



包括的な視点を持ち、議論し、検証して その結果を発表、発信できる人材を育てる



(写真左から)山中さん、バンさん、仁木さん。

総合科学部 教授
内海 千種 (うちうみちぐさ) 研究室

- ◎ナビゲーター
- 大学院 創成科学研究科 臨床心理学専攻
- 1年 **山中 茉椰** (なかやままや)
- 2年 **VU THI THUY VAN** (ヴーティツイバン)
- 2年 **仁木 柚葉** (にき ゆうは)

相手を主体において 話ができる人材を育成する

内海先生の研究室は心理学の中でも臨床心理学という実践応用分野。最近では多くの学校でスクールカウンセラーが配置されているので、心理学⇨カウンセリングのイメージをもつ人もいるかもしれませんが、認知心理学、社会心理学など「〇〇心理学」の数を数えたら山ほどあるというくらい、裾野の広い学問です。

臨床心理学は比較的新しい分野で、人々が生きやすくなるように、心に関する問題の成り立ちを研究

したり、その問題を軽くしたりする方法を学ぶことができます。そうした心の動きを可視化するようなアプローチも進んでいて、例えば心理検査をしているときにMRIなどで脳活動のデータを取り、心の状態を数値として把握する取り組みなども行われています。

また、心理学は心や行動について、個人的な視点からだけでなく、集団的な視点からも研究するため、社会で生きる自分自身の生きやすさや振り返りに役立てることもできます。「基礎的なものから、応用研究、実践分野に至るの心理学の面白さであり、深みにはまる」という内海先生。「心理学を通じて相手のことを考えて行動できる人を育てたい。相手を主体において話ができる、そういう視点を持った人になって欲しい」というのが先生の願いであり、この研究室の目標です。

様々な心の問題と向き合い 体験の本質を理解し、 研究にいかす

内海先生の専門分野は被災者支援や被害者支援。事件や事故、災害などの被災者に対する認知行動療法であるPE療法(Prolonged Exposure Therapy)について、その開発者のDr. Foa (米国ペンシルバニア大学)からのcertification。(右上)先生が息抜きに作ったザクヘッド。バイクやドライブも趣味だそうです。



(左上)ライオンの下はPTSDに対する認知行動療法であるPE療法(Prolonged Exposure Therapy)について、その開発者のDr. Foa (米国ペンシルバニア大学)からのcertification。(右上)先生が息抜きに作ったザクヘッド。バイクやドライブも趣味だそうです。

害などに遭った人にあられる心身の反応や、それによって起こったPTSDのような精神疾患についての心理療法を専門としています。

そんな内海先生の研究に興味をもち、以前からこの研究室に入りたいと思っていた山中さん。18歳までの逆境的体験が、成人後の心身の健康度合いに影響するという「ACE研究 (adverse childhood experiences)」に興味をもちます。

「ACE研究」では、心や身体に関するストレスや家庭環境の困難さなどの数をカウントし、4つ以上そうした体験のある人はゼロの人(家庭環境に何も問題のなかった人)と比べて、成人後の自死企図率が12倍になるというデータが

示されているのだとか。だからといって子どもの頃の逆境体験で人生が決まってしまうのかというと、そうではなく、体験の本質や一人ひとりに添った対処方法を研究し、支援に役立てたいといいます。

仁木さんは「大学生のネットいじめ加害」をテーマに修論をまとめました。友達から悩みを打ち明けられることの多かった仁木さん。いじめに関する相談もあり、「なぜ、いじめが起るのか」、「なぜそんなひどいことをする人がいるのか」を疑問に思っていたそう。研究を通して、加害者にも攻撃行動をしてしまう背景があると知り、これまでとは違った視点で考えることができるようになったといいます。

ベトナムからの留学生バンさんは、精神的に問題を抱えないようにするために必要なことについて研究しています。抑うつやwell-being (ウェルビーイング) など複数の質問に答えてもらい、サイコロジカル・キャピタル (Psychological Capital) という本人の持つ「がんばる力」に着目。トラウマがあっても自分の体験と向き合い、大変な状況下でどうすれば力を発揮できるのか、人間のポジティブな面に興味もち、研究に取り組んでいます。

総合科学部で 心理学を学ぶ意義

心理学科ではなく、総合科学部の心身健康コースで心理学を学ぶ意義について、心と身体の双方が



研究室のみなさん。犯罪被害者支援など司法や犯罪領域に興味がある人、地震などの自然災害の支援に興味を持った人、自身の生い立ちを心理学的に考察することで、「生きやすさ」を見出したいという人、内海先生の研究室で物の見方を学びたいという人など、幅広い興味を持った学生が集まっています。



研究室で作ったパンフレット。以前は徳島県警や徳島被害者支援センターなどと共催でイベントやシンポジウムも行い、フィールドワークも積極的に行っていたそうですが、コロナ禍で休止に。現在は被害者支援センターでのボランティアを中心に規模を縮小して活動を続けています。



内海先生が被害者支援、災害者支援に関わるようになったのは2001年に大阪教育大学附属池田小学校で発生した無差別殺傷事件がきっかけ。事件直後から支援のお手伝いに入り、現場の凄惨の様子や当事者の思いや、現場に居合わせた子どもたちの対応などおこなってきました。将来、重い話を聴く機会もあろう学生に「支援に関わる活動をしている間は相手を主体にして、それが終われば、今度は自分を主体にする。オン・オフをしっかりつけて、自分の時間はできる限り確保してほしい」とアドバイスします。

SIUオンライン留学に参加して

薬学部 創製薬科学科 3年
瀬戸田 紋李 (せとだ あやり)

初めての留学

私は、自身のリスニング力、スピーキング力の向上、人間性の成長を目的として、南イリノイ大学(SIU)にオンライン留学をしました。高校時代に英語を得意科目にしていたことや大学進学後も英会話を楽しむサークルに所属していることから、より様々な方とコミュニケーションをとりたいと思っていました。この留学を通じて、「実践的な英語力」を身につけることができ、自分の可能性を広げることができました。

今までの授業とのギャップ

実際に参加してみると、これまで受けてきた日本の英語教育とのギャップに大変驚きました。これまで英文法を最重要視した学習が主だった私にとって、グループ単位でのディスカッションや参考資料等の作成を通して、「実践的に」英語を学ぶプログラムは、当初私にはハードルが高いようにも思えました。しかし、それと同時に新たな発見も多く見られ、英語を英語で覚えるといった学習はまさに目から鱗でした。単語ごと

の細かいニュアンスや類語との違いを認識しやすくなり、それらが積み重なるにつれて少しずつではありますが、より自然な単語や表現を用いて会話ができるようになりました。今後も、英単語を勉強する際には英語を英語で学び、小さなニュアンスの違いにも気を配りながら英語力を培っていきたいと考えています。

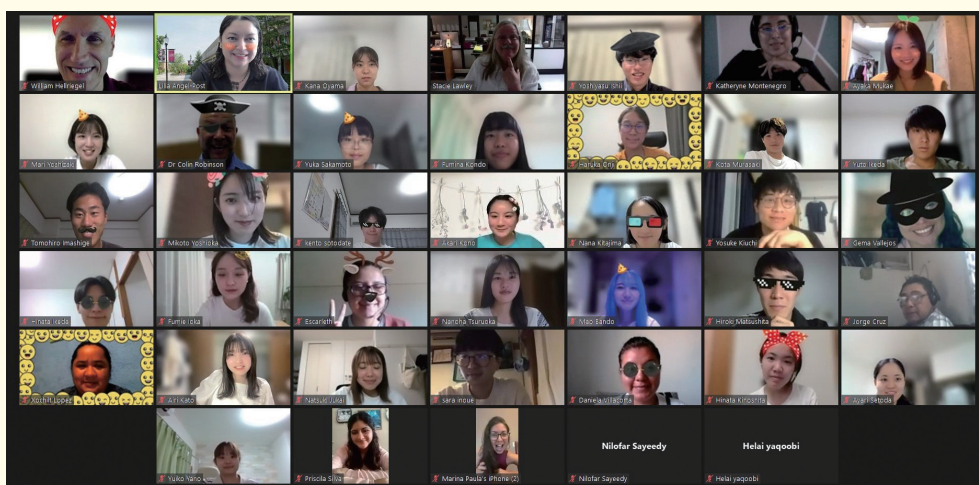
英語で会話することの楽しさ

当初の私は英語を話したいとは思いつつも、自分の発音に自信を持てず、英語を話すことにどこかとまどいがありました。また、文法や単語にはある程度の自信があったのですが、実際話すとなると自分が発した英語は本当にあっているのかが気になってしまい、やはり英語を発することに気後れしていました。

しかし、同じクラスで学習している方がそういった日本人的観点を一切気にされずに英語を話す姿勢に後押しされ、少しの勇気をもって英語を話してみると、自分が思っていたよりも自分の英語表現を理解してもらうことができた

だけでなく、私の意見が伝わり、この留学に参加していた日本人の方だけでなく、中東や南米の方々と楽しくディスカッションをすることができました。

「留学」というと日本語が通じない世界でうまくやっていけるのかを気にされる方もいるかと思いますが、かくいう私もそうでした。しかし、そんな心配は無用です。特に、オンライン留学は気軽に参加できるにも関わらず、本格的な英語学習を始める機会となり、留学前の非常に有意義なステップとなり得ます。私もこの留学で自信を持つことができ、あらためていつかは本格的に留学したいと強く思うようになりました。



社会人になるとなかなか留学機会を得ることは難しくなるかと思えます。大学生である今だからこそ、皆さんも挑戦の一步を踏み出してみてください！

My Life in Tokushima

徳島大学での楽しい研究室生活

大学院創成科学研究科 理工学専攻 2年

林 虹君

(リン コウケン) [台湾]



留学生
滞在記



研究室の友人(筆者:後列左側)

徳島大学大学院創成科学研究科理工学専攻の林虹君と申します。ダブルディグリー・プログラム制度で入学し、台湾では南臺科技大学に所属しています。徳島大学に来ることになったきっかけは、台湾の先輩が徳島大学を紹介してくれたことです。2019年に徳島大学のサマースクールに参加し、徳島大学で勉強したいと思いました。2022年5月から徳島大学で研究しています。

徳島大学へ来たとき、研究室の皆さんはとても親切にしてくれました。今でも研究のサポートをしてくれまますし、研究以外でも楽しく交流しています。所属している応用化学システムコースで開催されたソフトボールやボーリング大会に研究室のメンバーと一緒に参加したこともあります。ソフト

ボールは人生で初めての体験でした。大会の前にみんなと一緒に練習して、とても楽しかったです。このソフトボール大会では準優勝することができました。

徳島大学へ留学する前、徳島の文化について調べました。一番おもしろいと思ったのは阿波踊りです。それで、8月の阿波踊りに迷わず参加することにしました。残念ながら、膝をけがしてしまい踊りに参加できなかったのですが、縮太鼓を演奏しました。実際の阿波踊りでは、道の両側に多くの観客がいて、テレビ局も取材に来ていました。徳島の阿波踊りはとても盛大で賑やかなイベントでした。

徳島大学に来てから、サマースクールやスプリングスクールの参加しました。いろいろな国の人と友だちになり、英語でコミュニ

ケーションしたりプレゼンテーションを練習したりする機会がありました。また、チームワークを学んだり、徳島の有名な観光スポットに行ったりして、印象に残る経験をすることができました。

初めて徳島大学で授業を受けたとき、専門用語が多く、難しく感じました。しかし、私が理解できていないときは、先生が丁寧に英語で説明してくださいました。授業を受けるにつれて、次第に授業の内容についていけるようになりました。もっと日本語のリスニング力を高めたいと思っています。

台湾では高分子の研究をしていましたが、徳島大学では無機材料について研究しています。研究の過程で分からないことがあるときに先生に質問すると、詳しく丁寧に答えてくださいました。無機材料は高分子ほど専門的ではありませんが、それがきっかけで、だんだん興味を持つようになりました。私の指導教員である森賀先生と村井先生に感謝しています。徳島大学での生活でつくづく感じることもありますが、先生方や友達が励ましてくださるので、安心して前に進むことができます。

海外に住むようになると、いろ

いろなことを自分自身で対処し解決しなければなりません。私は徳島大学で今まで遭遇しなかった多くの問題にぶつかり解決してきました。それで、以前より自立した人になったと感じています。大学院を修了した後、経験を積むために日本でも働きたいと考えています。将来は化学工学に関係する企業の研究開発者として働きたいです。そして、挑戦を恐れず会社に貢献できるようなエンジニアになりたいと思っています。

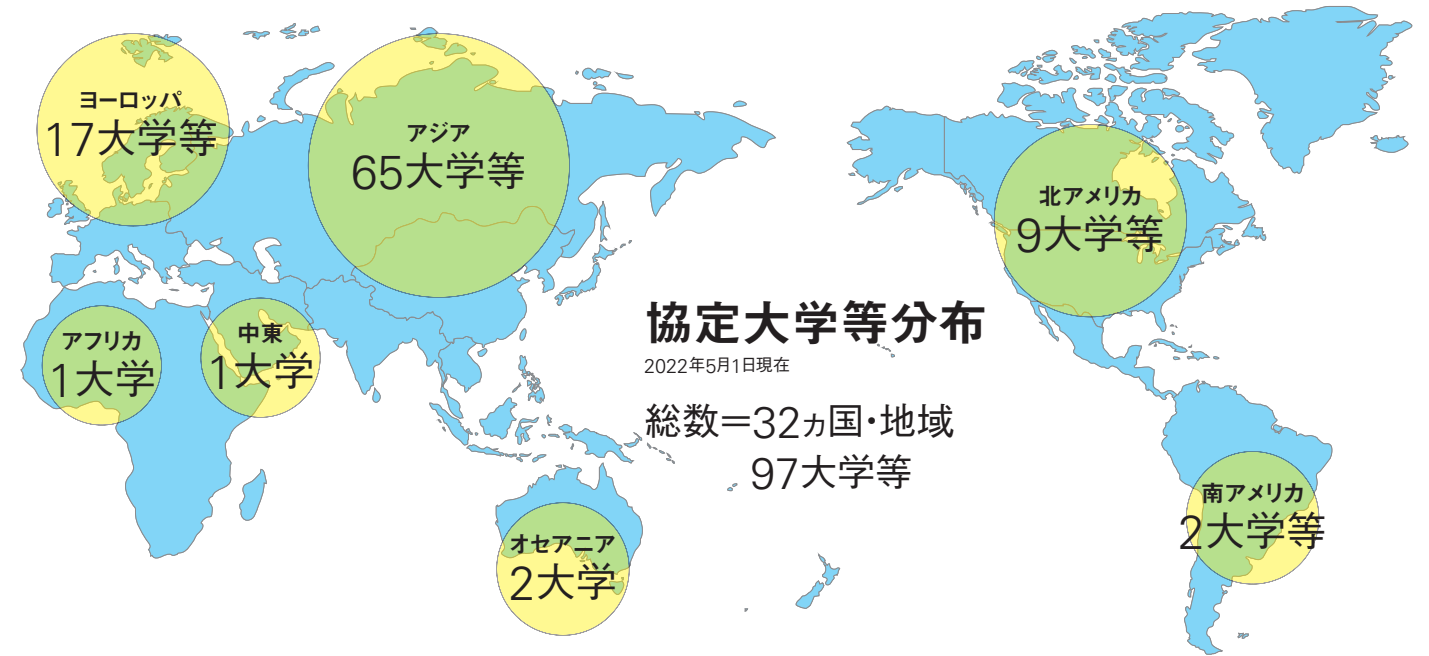


化応連阿波踊り(筆者:1列目左から2番目)

応用化学システムコースC-1研究室(筆者:1列目左端)

部局間協定

部局	国・地域	大学等名	
総合科学部	韓国	韓国外国語大学	
	台湾	国立嘉義大学人文芸術学院 育達科技大学人文社会学院 開南大学人文社会学院	
	中国	寧波大学外国語学院	
	ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	
	アメリカ合衆国	スリバリーロック大学	
	カナダ	ビショップス大学	
	クロアチア	ザグレブ大学人文社会科学部 ザグレブ大学クロアチア研究部	
	スウェーデン	ルンド大学人文神学部	
	スロベニア	リュブリャナ大学文学部	
	ベルギー	ゲント大学文学哲学部	
	ラトビア	ラトビア大学人文学部	
	ネパール	トリバン大学医学部	
	フィンランド	メトポリリア応用科学大学保健看護学部	
	韓国	延世大学バイオメディカル・エンジニアリング研究部 延世大学スペース・バイオサイエンス研究部	
	タイ王国	プリンスオブソンクラ大学看護学部	
フィリピン	セントポール大学フィリピン シリマン大学看護学部		
医学部	インド	スリハサナンバ歯科大学 マニパール歯科大学 SRM歯科大学	
	インドネシア	ハントウアー大学歯学部 スルタンアグニスラミック大学歯学部 ハサヌディン大学歯学部 ウダヤナ大学 マハサラスワティ・デンパサール大学歯学部	
	韓国	朝鮮大学歯学部	
	中国	中国医科大学口腔医学院 上海交通大学医学院附属第九人民医院	
	チリ	フィニス テラーエ大学歯学部	
	フィンランド	メトポリリア応用科学大学リハビリテーション・医療検査学部	
	インド	ジャダプール大学学際的・研究・法学・経営学部 インド国政府科学技術省生物資源持続型開発研究所 (ISBD)	
	インドネシア	スマトラ・ウタラ大学薬学部	
	中国	大理大学薬学化学院 天津医科大学薬学院	
	アメリカ合衆国	ノースカロライナ大学チャペルヒル校エシエルマン薬学部	
	カナダ	プリティッシュコロンビア大学薬学部	
	中国	中国科学院広西植物研究所	
	アメリカ合衆国	コロラド大学ボルダー校	
	薬学部	ドイツ	ラインマイン応用科学大学工学部
		インド	ノースマハラシュトラ大学化学部、生命科学部、物理科学部、数理科学部、計算機科学部及び科学技術院
インド		ドクターババサハブアンベドカルマラツワダ大学理学部 バラティビドゥヤピース ディームド大学工学部	
薬学部 大学院薬学研究科 大学院社会産業 理工学研究科理工学域 大学院創成科学研究科	韓国	東義大学大学院	
	台湾	南台科技大学工学部	
	モンゴル	モンゴル科学技術大学情報通信技術学部	
	チェコ	ブルノ工科大学中央ヨーロッパ技術研究所 (CEITEC)	
	フランス	トゥールーズ工科大学	
理工学部	中国	広東海洋大学農学部	
	台湾	淡江大学推広教育室	
	韓国	東亜大学考古美術史学科	
	韓国	東亜大学考古美術史学科	



徳島大学の国際交流

国際交流により、異文化を理解し、世界の教育研究の発展に寄与することは大学の重要な使命の一つです。本学では、国際交流協定校との連携強化、外国人留学生及び研究者の受入支援体制の整備、本学学生の海外派遣制度の充実、教員、職員など各層の国外研修制度の整備などを進めています。ここでは、本学が協定を結んでいる海外の大学等を紹介しします。

国際交流協定一覧

大学間協定

国・地域	大学等名	国・地域	大学等名
インド	サヒトリバイ プーレ プネ大学	マレーシア	マレーシアサイエンス大学
インドネシア	ガジャマダ大学 ムハマディア大学ジョグジャカルタ校		マレーシア工科大学 マレーシア国民大学 マラヤ大学 マレーシアマラッカ技術大学
韓国	慶北大学 韓国海洋大学 ソウル国立大学 時事日本語学院 東国大学	モンゴル	モンゴル国立医科大学
タイ王国	キングモンクット工科大学トンブリ校	イスラエル	テクニオンーイスラエル工科大学
台湾	国立台湾科技大学	オーストラリア	モナシュ大学
中国	武漢大学 吉林大学 西安交通大学 南通大学 同済大学 南京大学 大連理工大学	ニュージーランド	オークランド大学
ベトナム	ドンズー日本語学校 ベトナム国立栄養院 ベトナム国立農業大学 ダナン大学	アメリカ合衆国	フロリダアトランティック大学 テキサス大学ヒューストン ヘルスサイエンスセンター 南イリノイ大学
		カナダ	トリニティウエスタン大学
		ブラジル	パラナ連邦工科大学
		イタリア	ミラノ大学
		スイス	バーゼル大学
		ドイツ	ハノーバー医科大学
		フランス	ボルドー大学
		ブルガリア	ヴェリコ・タルノヴォ大学
		ポルトガル	レイリア工科大学
		エチオピア	ゴンダール大学



本学が参画する徳島県の
「次世代光創出応用による
産業振興・若者雇用創出計画
（展開枠）」が採択されました

平成30年度地方大学・地域産業
創生交付金事業（以下、「交付金事
業」）の採択自治体を対象とした、
国費支援終了後の特例的追加投資
「展開枠」（以下、「展開枠」）の交
付対象事業として徳島大学が参画
する、徳島県の「次世代光創出
・応用による産業振興・若者雇
用創出計画（展開枠）」が採択さ
れました。

展開枠では、次世代移動通信に
向けた「オール光型テラヘルツ通
信」と家庭内ホスピタルに向け
た「メタマテリアルを用いた非侵
襲呼吸バイオセンサー」を研究重
点2分野と位置付け、世界レベル
の成果創出と社会実装を目指しま
す。これに並行して、これまでの
交付金事業の中で明らかになった
「ポストLEDフォトリクス研究
所創出技術と県内外企業現有技術

とのギャップ（技術ギャップ）及
び「研究と社会実装の間のギャッ
プ（事業化ギャップ）」を解消する
ため、各種開発技術の事業化判断
を可能にするプロトタイプ作成と
それを通じた県内外企業人材育成
を行うための組織「次世代光イン
キュベーション機構（仮称）」を
本学内に創設し、研究から事業化
へのスムーズな展開を図ります。

令和4年度康楽賞贈与式を
開催しました

令和4年度の康楽賞受賞者（教
員12名、学生48名（うち学術研究
関係24名、奨学生24名））が決定し、
2月7日、長井記念ホールにおい
て贈与式を開催しました。

康楽賞は、公益財団法人康楽会
より、本学の教員でその研究に成
果のあった者及び本学の学生で学
業成績が優秀である者に対し、賞
状、賞金及び奨学金が贈られるも
ので、今回で72回目です。
新型コロナウイルス感染症の影



響で、一昨年は中止、昨年はオン
ライン開催となっており、今年度
は3年ぶりに対面で実施されまし
た。贈与式では、各部門の代表者
に公益財団法人康楽会三木緑理事
長から賞状、賞金及び奨学金が授
与されました。また、受賞者を代
表して大学院医歯薬学研究所・保
坂啓一教授より公益財団法人康楽
会に対して謝辞が述べられました。

読者の
言葉

読者の皆さまから寄せられた
ご意見・ご質問に
一部ではございますが、
とくたん編集専門部会から
お答えさせていただきます。

わざわざ送って頂き、ありがとうございます
ございました。遠く離れているので、この
ような形で息子の学校の様子が知れ
てありがたいです。来年は制限が解除
されて大学祭を見に行つてみたいもの
です。どうもありがとうございます

ご感想ありがとうございます
昨年度は本学でも3年ぶりに対面
式で大学祭が開催されました。本
年度は対面授業も全面的に広がり
よりコロナ禍以前の大学の姿へと
戻っていくことが期待されます。
保護者の方々もぜひ大学祭などに
足をお運びいただき、学生の活動
を直接見ていただけると幸いです。

息子が入学してから、一人暮らしを
心配しておりましたが、徳島大学のこ
とがよくわかる広報誌があり、学生生
活を感じる冊子で毎回来しみにして
おりました。その冊子のことをきっか
けに話すこともあり、感謝しておりま
す。6年間、ありがとうございます

6年の間、とくたんを読んで頂き
誠にありがとうございます。ま
た、本誌がご家族の話題のきつ
かけになったとのこと、大変
うれしく思います。とくたんは
HP上でも掲載されておりませ
るので、ご子息・ご息女が卒業
された後も機会があればぜひお
読みいただき、今後とも徳島大
学も応援していただけると幸い
です。

徳島大学の魅力向上のため、先端
最新技術の研究や特色あるプログラ
ムについて大いに発信していただけれ
ばと思います。

ご意見ありがとうございます
昨年度は医工融合プログラムや
アントレプレナーシップ教育な
ど徳島大学が進めるプログラム
についてご紹介させていただき
ました。本年度も読者の皆さま
が興味を持って読んで頂けるよ

うな特集や内容にしていきたい
と考えております。気になる内
容などがございましたら、今後
もご意見を頂けると幸いです。

子どもが在籍している大学の情報
がきれいな冊子で届くので、少し楽し
みではある。コロナ禍での入学、地方
大学というのもあり、閉塞感を常に抱
いているように見える子ども達の姿に胸
が痛い。活気がみられない。大学入学
後、いろいろと苦労したようでも目標を
失ってしまったようだ。田舎の大学で
はあるが、土地柄を打破し、開拓して
いってほしいなど「とくたん」を読み
ながらいつも思っているし、望んでいる。

ご意見ありがとうございます
コロナ禍での学生生活は、これ
までと比べて閉塞感を抱きやす
いものになってしまったと存じ
ます。本年度は環境が改善する
ことが期待されますが、コロナ
禍で失ったものをすぐに取り戻
すのも難しいとは思っています。徳
島大学では、先端的な研究から、
地方ならではの地域との連携な
ども行っており、今後そのよう
な特集も考えております。とく
たんが大学での目標などを改めて
考える機会となれるように、本
編集専門部会も努力していきたく
いと考えております。

●奨学金のご案内について

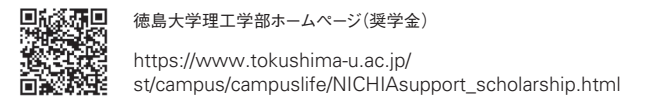
日本学生支援機構奨学金

貸与奨学金には「第一種奨学金（無利子貸与）」と「第二種奨学金（有利子貸与）」があり、令和2年度より国が実施する「高等教育の修学支援新制度」として、給付奨学金制度が実施されています。定期採用の募集案内は4月上旬になります。申込から振込までの流れや手続きについての詳細はホームページをご確認ください。



日亜特別待遇奨学金

理工学部の日亜特別待遇奨学金は、日亜化学工業株式会社様のご厚志により贈られた寄附金を原資として、学業、人物とも優秀な学生に対し返済義務を課さない奨学金を給付する特別待遇奨学金制度として平成17年に発足しました。詳細は理工学部ホームページをご確認ください。



徳大キャンパス散歩 # とくwalk vol.1

【百寿の門柱】

常三島キャンパス東西の敷地のあいだに佇む門柱。何気なく通り過ぎていかもれませんが、実は…大正11年10月徳島高等工業学校創立当時からあるものです。当時、徳島高等工業学校の本科には、土木工学科・機械工学科・応用化学科（製薬化学部）があり、現在の理工学部はもちろん、実は薬学部の前身にもあたります。門柱は現在2基を残すのみ。ただ今100歳、百寿の門柱に、徳島大学の歴史を感じてみてください。

メールマガジン とくだい通信

徳島大学メールマガジン とくだい通信

本学の学生活動や地域との連携、一般公開講座のご案内など、様々な徳大ニュースをお届けするメールマガジン「とくだい通信」を、月1回配信しています。どなたでもご覧いただけますので、ぜひ以下から配信登録をお願いいたします。

■登録方法

1. メール本文に、配信先メールアドレス、氏名、本学との関係（卒業生、保護者、所属等）を明記
2. koho@tokushima-u.ac.jpまでメール
3. 配信登録いただいた月末より配信開始

バックナンバーは上記よりご覧いただけます

大阪・神戸・USJへはジェイアール四国バスが便利でオク!

学生割引を使ってラクラク直行!
毎日運行!(車内フリーWiFi、コンセント付)

三宮BT (学割)2,720円
徳島駅 三宮BT
なんば・大阪・USJ (学割)3,040円

ジェイアール四国バス
Tel. 088-602-1090

NICHIA
Ever Researching for a Brighter World

身近なところでNICHIAの製品は活躍しています

日亜化学工業株式会社
徳島県阿南市上中町岡 491 番地
TEL: 0884-22-2311
http://www.nichia.co.jp/